

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名: 頸動脈ステント留置術が網脈絡膜循環へ与える影響の検討』

研究機関名: 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者: 脳神経外科 職位・氏名: 講師 林 盛人

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科では、頸部頸動脈狭窄症(けいぶけいどうみやくきょうさくしょう)¹⁾に対する血行再建術の一つである頸動脈ステント留置術(CAS: Carotid artery stenting)が眼の網脈絡膜血流(もうみやくらくまくけつりゅう)²⁾に及ぼす影響を解明することを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、頸部頸動脈狭窄症に伴う眼虚血症候群の発生メカニズムの解明および安全な頸動脈ステント術の施行につながります。

- 1) 頸部頸動脈狭窄症: 首を通して脳へ血液を送る主となる血管の内側が狭くなること
- 2) 網脈絡膜血流: 眼底の血流で、視力・視野に影響します

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者: 2018年3月～2021年8月までに東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科にて、頸部頸動脈ステント留置術の手術を受けた方(40例を予定)。

方法: 診療録(カルテ)から抽出されたデータを解析し、頸部頸動脈ステント留置術後の網脈絡膜血流の変化について検討します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報:

- ・ 通常診療録(カルテ)より抽出する項目: 年齢、性別、病歴、頸動脈狭窄部位、頸動脈狭窄症による症候の有無、MBR(Mean Blur rate)、MBR変化値等
- ・ CAS施行時に撮影した既存の脳血管造影データから、今回新たに算出する項目: CAS前後の内頸動脈・外頸動脈・眼動脈のtime to Peak(TTP)値、TTP変化値、内頸動脈TTP値/外頸動脈TTP(TTP比)、TTP比変化、眼動脈血流方向

【外部への試料・情報の提供】

外部への試料・情報提供はございません。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表医師: 林 盛人 役職: 講師

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。また、患者様ご本人はもちろん、ご家族等、代諾者の方からのお問い合わせもお受けいたします。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科

職位・氏名： 講師・林 盛人

電話： 03-3468-1251 内線： 7434